



# 成田市議会だより



成田市観光  
キャラクター うなりくん

## 平成23年 9月定例会

### 主な内容

常任委員会	3
議案と審議結果一覧	5
決算特別委員会を設置	6
特別委員会	6
一般質問	8
コーヒータム	14

### 総合窓口

10月11日(火)から総合窓口がオープン。  
引っ越しや、結婚・出生などに関連する複数の手続きが一つの  
窓口で行えるようになりました。(10月11日 市役所1階)

9月

定例会の  
あらまし

# 23議案を可決・同意

## 児童ホームの設置及び 管理に関する条例の一部改正や 公津の杜中学校 新築工事請負契約の締結など

平成23年9月定例会は、9月2日に招集され9月22日まで21日間の会期で開かれました。

定例会の初日には、31議案が上程されました。6日には、決算特別委員会が新たに設置されました。

一般質問は、6日から3日間、17人の議員が登壇して行われ、8日には議案2件を同意しました。9日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案19件と発議案1件、追加議案1件を原案どおり可決しました。なお、平成22年度決算関係10議案は継続審査となり閉会しました。

### 9月定例会の日程

月 日	内 容
9月 2日 (金)	本会議 (開会、会期の決定、全議案一括上程)
6日 (火)	本会議 (一般質問)、決算特別委員会
7日 (水)	本会議 (一般質問)
8日 (木)	本会議 (一般質問、議案質疑、委員会付託)、決算特別委員会
9日 (金)	経済環境常任委員会
12日 (月)	空港対策特別委員会、教育民生常任委員会
13日 (火)	建設水道常任委員会
14日 (水)	地域防災特別委員会
15日 (木)	医療問題特別委員会
16日 (金)	総務常任委員会
22日 (木)	本会議 (会議録署名議員指名、議案審議、閉会)

# 常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と  
審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

## 総務 常任委員会

付託された議案5件を審査し、可決しました。

### ▼平成23年度成田市一般会計補正予算（第2号）

[内 容] 財政調整基金<sup>注1</sup>への積み立てを行い、予防接種事業や観光PR事業等を実施するため、歳入歳出それぞれ14億7,907万3千円の増額補正を行うとともに、災害復興支援事業にかかる民間賃貸住宅借上料等について債務負担行為<sup>注2</sup>の追加を行うもの。

注1 年度間の財源の不均衡をならすための積立金で、地方財政法で設置が義務づけられている基金。  
注2 将来にわたる債務を負う契約を結ぶこと。

### ▼特別職の職員の給与の特例に関する条例制定

[内 容] 成田市幹部職員が加重収賄罪で起訴された事件に関して、市長と副市長の任命責任及び管理監督責任に鑑み、給料の100分の10を平成23年10月から12月までの3カ月減額するもの。

[主な質疑] 問 不祥事に関して、再発防止委員会は開催されているのか。

答 平成23年8月8日の開催以降は、倫理、調査、制度改革の部会をそれぞれ開催しており、今後、委員会としての取りまとめを進めていきたい。



### ▼成田市児童ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正

[内 容] 吾妻児童ホームにおいて、待機児童の恒常的な発生が見込まれることから、吾妻小学校敷地内に新たに吾妻第一及び第二児童ホームを設置し、それぞれ定員を50人として、平成23年10月1日から開所することに伴い所要の改正を行うもの。

[主な質疑] 問 新たに吾妻第一及び第二児童ホームを設置するわけだが、それでも対応できなくなるということは考えられないか。

答 年度当初は入所児童が増えるが、後半になると退所する児童もいるため、対応できるものと考えている。



▲吾妻児童ホーム

## 教育民生 常任委員会

付託された議案12件を審査し、可決しました。  
所管事務について6件の報告を受けました。

### ▼成田市立公津の杜中学校新築工事請負契約の締結

[内 容] 西中学校学区内では、今後更なる生徒数増加が見込まれることから、平成25年4月の開校を目途に、中学校を新設するにあたり、工事請負契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

[主な質疑] 問 学校建設と給食施設整備の連携は。

答 工事の契約時期はずれるが、開校と同時に給食施設も使えるようにしたい。



## 建設水道 常任委員会

付託された議案3件を審査し、可決しました。  
所管事務について1件の報告を受けました。

## 経済環境 常任委員会

付託された議案は、ありませんでした。  
所管事務について6件の報告を受けました。

## ▼成田市水道事業給水条例の一部改正

[内 容] 水道料金及び給水申込納付金の改定に伴い、所要の改正を行うもの。

[主な質疑] **問** 水道料金が平均5.6%の値上げということであるが、水道事業として具体的にどのような経営努力をしているのか。

**答** 平成21年度に水道料金の徴収事務と計算業務を一元化したことで、委託経費の削減、事務の効率化、サービスの向上を図った。また、配水場施設等の適切な点検を定期的を実施することで、大規模な修繕を未然に防ぎ、維持管理費の削減を図っている。

**問** 経済不況の中、公共料金の値上げや、東日本大震災の復興に伴う増税等が社会で騒がれている中、なぜこの時期に料金改定を行うのか。

**答** 平成23年度が損益分岐の年であり、24年度以降は継続的な赤字が予想される。料金改定をしない場合は、欠損金が累積され、更新事業や耐震事業の建設工事に支障が生じ、安定した水道水の供給が困難になることが予想されるため、平成24年4月の実施が望ましいと考えている。

## 市議会の流れ

市議会には、年4回（3月・6月・9月・12月）開催される定例会と、必要に応じて開催される臨時会があります。これらの会議で、議案などを審議し議決を行います。

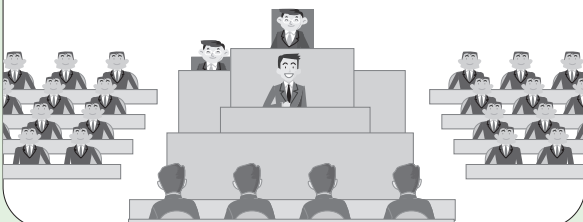
### ① 告示

議会を開くときは、開会日の7日前までに市長が会議の招集を告示します。

### ② 本会議

本会議では、市長から提案された議案や議員が提出した議案、また請願などを審議するほか、市政全般に対する一般質問が行われます。

なお、議案等を詳細に審査するため、所管の委員会に付託します。



### ③ 委員会

本会議で付託された議案等は、それぞれの委員会で専門的、効率的に審査します。委員会での審査結果は本会議で報告します。



### ④ 本会議

委員会の報告書に基づき、質疑・討論を行った後、各議案等について、市議会としての意思を多数決によって決定します。この結果を受けて、市は具体的な事業を実施していきます。また、市だけでは解決できないことは、国などへ意見書として提出します。



# 議案と審議結果一覧

議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ										豪政会			リベラル成田			公明党		共産党		市工									
			神岡 勝	福島 浩一	伊橋 利保	雨宮 真吾	佐久間一彦	湯浅 雅明	小澤 孝一	秋山 忍	荒木 博	神崎 利一	村崎 照等	石渡 孝春	平良 清忠	宇都宮高明	海保 貞夫	飯島 照明	小山 昭	上田 信博	青野 勝行	伊藤 昌一	海保 茂喜	伊藤 竹夫	油田 清	一山 貴志	水上 幸彦	大倉重雄	鶴澤 治	馬込 勝末	足立清智子	會津 素子
◆ 議案																																
1	教育委員会委員の任命 (佐藤 玉江)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	人権擁護委員の推薦 (宮野 精一)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3	非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	成田市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
5	成田市都市計画税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
6	成田市児童ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
7	成田市集会施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
8	成田市スポーツ広場の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
9	成田市大栄野球場の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
10	成田市水道事業給水条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
11	公津の杜複合施設建設工事 (建築工事) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	公津の杜複合施設建設工事 (電気設備工事) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	公津の杜複合施設建設工事 (機械設備工事) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	ニュータウン中央線橋梁架設工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	成田市立公津の杜中学校新築工事 (建築工事) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	成田市立公津の杜中学校新築工事 (電気設備工事) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	損害賠償の額の決定及び和解	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	平成23年度成田市一般会計補正予算 (第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
29	平成23年度成田市介護保険特別会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	平成23年度成田市水道事業会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	特別職の職員の給与の特例に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	成田市立公津の杜中学校新築工事 (機械設備工事) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 発議案																																
1	成田市市政に係る重要な計画の議決等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ 平成22年度決算関係議案 (議案第18号~27号) は継続審査。  
 ※ ○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席 ※ 議長 (宇都宮 高明) は採決に加わりません。  
 ※ 党派等の名称の略は次のとおり 共産党=日本共産党、市=無所属市民の会、工=エコピースの会

# 特別委員会

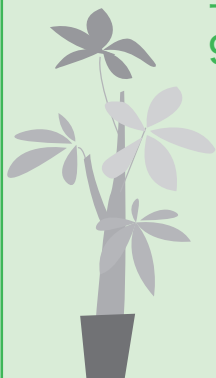
委員会で報告された内容の一部を要約して紹介します。



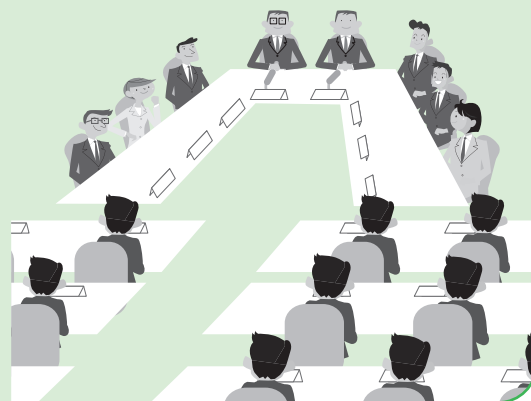
## 決算特別委員会を設置



平成22年度決算関係議案を審査する決算特別委員会が、9月定例会において設置されました。



委員長	油田 清		
副委員長	小澤 孝一		
委員	飯島 照明	福島 浩一	
	小山 昭	水上 幸彦	
	海保 茂喜	馬込 勝末	



## 空港対策 特別委員会

### ●第2回成田空港騒音対策検討委員会の概要

委員会では、作業部会から提案された民家防音工事の恒久化、発着回数の増加に対応した防音済住宅の遮音効果の検証、及び落下物から生活環境を守るための方策の3項目が重点課題として承認され、次回の委員会でより深く検討を進めていくとのことでした。

また、発着回数が増加する10月末のダイヤ改正、同時離着陸方式への移行後に、騒音地域の状況について視察を実施するとのことでした。

今後の進め方については、重点課題等に関する対応策などについて鋭意検討を進め、平成23年度内を目途に、一定の取りまとめをしたいと考えているとのことでした。

**[主な質疑]** 問 成田空港周辺地域共生財団が行った防音工事にかかる空調機については、今後どういう方向になるのか。

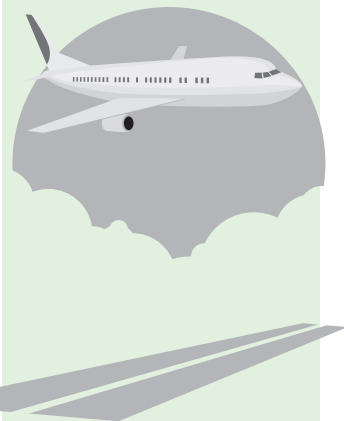
答 空調機の更新制度自体がないため、制度の確立について成田市として強く要望していきたい。

### ●同時離着陸方式の導入と2011年冬ダイヤ

成田空港における空港容量拡大と滑走路の処理能力を増やすために、同時離着陸方式が実現可能かどうか調査検討を行い、航空機の監視体制を強化するなどの条件が整うことで、また防衛省との間で空域調整を行った結果、2011年冬ダイヤから同時離着陸方式を導入することが可能となったとのことでした。

この方式を導入することにより、滑走路の処理能力は、出発、到着それぞれ1時間あたり32回から46回に拡大するとともに、出発・到着の組み合わせでは、1時間あたり54回から58回に拡大するとのことでした。

また、この冬ダイヤの特徴として、国内線の発着回数が、スカイマーク社の就航等により、年間1万回程度増加して、3万回程度となる見込みであるとのことでした。





## 医療問題 特別委員会



### ●消防本部救急搬送の状況（平成22年1月～12月分）

成田市の救急搬送件数は6,078件、搬送人員は5,518人で、過去2番目の救急件数とのことであり、搬送先は、成田赤十字病院が最も多く、全体の59.8%とのことでした。

[主な質疑] **問** 日本医科大学千葉北総病院への搬送が少ないように思うが何か理由はあるのか。

**答** 診療科目も多く、高度医療を提供できるが、搬送に時間を要することから少なくなっている。

### ●成田市24時間医療相談ほっとラインの利用状況(平成23年4月～6月分)

相談件数は1,533件で、1ヵ月平均では511件、乳幼児の相談が多く寄せられ、特に女性の相談者が男性よりも4.7倍多く、相談内容では、「気になる身体の症状に関する相談」が30.4%と最も多いとのことでした。

[主な質疑] **問** 1年間、本事業を実施したことで、コンビニ受診等は減っているのか。

**答** 救急通報の減少等の数字的效果は見えていないが、先行する自治体では、効果が表れている所もあるため今後に期待したい。

## 地域防災 特別委員会



### ●公共施設等の復旧状況

主な施設の復旧状況並びに要した経費についての報告があり、農業関連施設や上下水道関連施設、道路・橋梁、小中学校、スポーツ施設等の復旧など、総額で約5億2,064万円とのことでした。

[主な質疑] **問** 成田市内の小中学校の一部損壊に構造体の破損も含まれているが内容はどのようなものか。

**答** 建物の構造上の接合部破損によるもので、おおむね平成23年3月中に修繕対応をしている。

### ●放射能の測定結果

大気中の放射線量については、平成23年5月下旬から測定を行い、8月以降は携帯型のシンチレーション式サーベイメータを導入して保育園、幼稚園、小中学校、公園等の測定を定期的実施しており、各施設の放射線量は毎時0.06から0.31マイクロシーベルトの範囲内であり、文部科学省が示した年間1ミリシーベルトを超えると考えられる地点については細かく継続的に調査し、必要な場合は低減策を講じていきたいとのことでした。

また、専門の調査機関に委託した土壌中やプール、農作物、水道水等の放射能測定結果では、不検出または国の基準値が示されていないものも含めて数値的に大きな値は検出されなかったとのことでした。



# 一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

## 1. 地方分権改革を市政にどう反映させるか



秋山 忍 議員

▲成田市役所

**問** 地方自治体は、内政全般にわたり数多くの事務や事業を実施しているが、それらについての決定権は地方自治体に与えられていない場合が多くあった。今回の義務づけ、枠づけ見直し第1次一括法により、国が法律や政省令で行政サービスの内容を決め、地方自治体が執行するという仕組みが、大きく変わるとされている。地域主権改革関連3法の成立を、成田市としてどうとらえ、今後の市政にどう反映させていくのか、基本的な考え方を伺う。

**答** この地域主権改革は、自治体が国への依存から脱却し、政策

注3 法令や各種規則などのルール、さらには社会的規範などを守ること。

の企画立案から実施に至る過程での自由度を飛躍的に高めるものであるが、その反面、みずからの判断に大きな責任を負うこととなるため、自治体の力量や真価が問われることとなる。成田市においても、地域主権改革の趣旨を踏まえ、これまで以上に地域住民のニーズの把握に努めながら、成田市の実情に合った施策を講じていきたいと考えている。

### その他の質問

- ◆贈収賄事件及び再発防止に対する成田市の見解
- ◆コンプライアンス<sup>注3</sup>事業

## 2. 市民の信頼を回復するための入札改革



水上幸彦 議員

**問** 職員の不祥事事件を受けて、市民の信頼を回復することが急務であり、職員の資質や倫理的問題も非常に大事だが、何よりも絶対に再発させない入札制度の確立が大事である。どのような方針で信頼回復の入札制度改革を行う考えか。

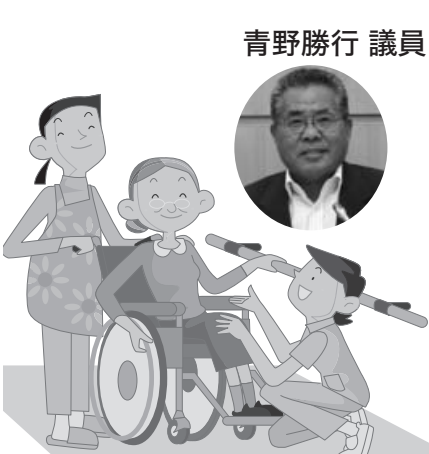
**答** 今回このような不祥事が発生し、成田市全体の信用が著しく損なわれる結果を招いたことを重く受けとめ、不退転の決意で入札制度の改革、職員のコンプライアンス意識を高める施策の実施などを進め、市民に信頼される市役所づくりを目指していく。改革の第一歩として事

件の発生後、成田市収賄事件調査・再発防止委員会を設置し、事実関係の掌握、原因究明並びに不祥事の再発防止策及び職員の服務規律の確保について鋭意調査検討を進める。今後、収賄事件調査・再発防止委員会の中で、先進自治体の最低制限価格の取り扱い方法なども参考に検証を進め、入札制度を構築する。

### その他の質問

- ◆市情報の公開と発信方法
- ◆災害時要援護者避難支援制度の機能する体制づくり
- ◆敬老会の今後

## 3. 障がい者福祉における介助者の高齢化



青野勝行 議員

**問** 我が国では、深刻な社会問題の一つに少子高齢化があり、障がい者福祉でも介助者の高齢化が問題となっている。成田市総合保健福祉計画では、増加傾向にある高齢者世帯や障がい者の調査結果が記載されているが、介助者の高齢化問題についての記載はない。成田市では、障がい者の高齢化や介助者の高齢化についてどのように考え、取り組んでいくのか。

**答** 年老いた親が障がいのある子どもを介護するという老障介護は、今や大きな課題となっている。重い障がいのある子どもを長い間介

護し、経済的にも体力的にも精神的にもぎりぎりの状態で介護を続けているということがないように、成田市としては、障がい者本人や家族が安心して地域で暮らしていくために必要なサービスを提供し、個々のニーズに対して的確に相談に応じていくことが重要であると考えている。

### その他の質問

- ◆障がい者の生活状況の把握と確認方法
- ◆介護保険と障害者自立支援法で利用する福祉サービス
- ◆福祉施設間の連携



## 4. 成田市独自の放射能対策を

雨宮真吾 議員



▲学校給食

**問** 平成23年7月に市販ルート上の牛肉から国の基準値を超える放射性セシウムが検出され、この牛肉が成田市内で販売された。成田市はこれまで「市場に出回っているものは安全である」という判断をしてきたが、市民の安心と安全を守るという意味でも、学校給食に使う農産物の放射能の測定を行い公表するなど、成田市として具体的な次の対策を検討すべき時期ではないか。

**答** 学校給食用食材の納入業者に対し、安全確認を徹底するよう指導するとともに、食材の安心を確保するため、測定器を導入する準備

をしている。また、今後の放射線量の測定は、学校や園内により多くの測定地点を設け、通学通園における途中地点の測定など、より細かく測定を行い、必要な場合は低減対策を講じていく。併せて、測定日時や場所を事前に公開して行うことも視野に入れて実施していきたい。

### その他の質問

- ◆入札制度改革、変動型最低制限価格の導入を
- ◆霞ヶ浦導水事業からの水源確保の必要性和当初想定との乖離
- ◆これまでの放射線測定の推移にみる成田市の見解

## 5. 職員人事とコンプライアンス条例の制定

足立満智子 議員



▲さまざまな研修を受ける成田市職員

**問** 今回の収賄事件は入札制度改革の努力や、それに対する市民の期待に背く悪質な行為である。手腕を期待された職員が土木課長在職1年の間に収賄と接待を受け、4月には別の部署に異動となった。この異動の理由と職員人事について、併せて2007年に制定した働きかけ要領・内部通報要綱の運用状況を伺う。また、これらの要領・要綱を内規にとどめず、市民の責務も併せたコンプライアンス条例を制定すべきではないか。

**答** 管理職の人事については、何年で異動という考え方ではな

く、事業の継続性やこれまでの経験などに基づき、組織全体に配慮し、適材適所の人事配置を行っている。働きかけ要領・内部通報要綱とも、現在まで対象となる事例の報告や実績はない。また、コンプライアンス条例の制定については、現行制度の運用方法を見直すとともに、先進自治体の取り組みなどを参考に、前向きに検討していく。

### その他の質問

- ◆放射能汚染に関する保育園・学校給食への対応
- ◆食品放射能測定機器の購入
- ◆(仮称)放射線対策室の設置

## 6. 成田市における農業振興のあり方

佐久間一彦 議員



**問** 今日の農業を取り巻く情勢は、農業経営者の高齢化、後継者、担い手不足、遊休農地の増加などにより厳しさを増している。成田市においても、特に水田農業は多数の兼業農家と少数の担い手農家で支えられているが、高齢化が進み後継者の確保が難しくなっている。関係機関一体となってこの問題に取り組まなくてはならないが、対応策についてどのように考えているか。

**答** 担い手不足の対応策として、認定農業者制度がある。成田市が認定する農業者を関係機関、団体が一体となり支援していくもので、

今後も制度の啓発を図り、経営の向上を支援し、認定農業者の確保に努めていく。また、特に稲作経営では、高齢農家や小規模農家が多い地域において、集落を基盤としながら、その集落内の合意形成のもと、関係機関と連携し、地域における担い手の確保と、集落営農などの組織化を推進していきたい。

### その他の質問

- ◆成田空港騒音地区未利用地を利用した新エネルギーの活用推進
- ◆共生財団の現状と今後の見直し
- ◆共生財団の財源確保策としての新エネルギー活用



## 7. 震災後の被災者支援策

村嶋照等 議員



▲ボランティアにより片付けが進む被災地

**問 >>>** 今、多くの企業が被災地復興支援のため新しい制度を取り入れて、社員がボランティアに参加しやすい環境整備に努めている。阪神・淡路大震災を契機に導入が増加した支援制度を、社員が参加しやすいように、より充実させた形として新設された、ボランティア休暇制度を利用した活動である。また、大学等でも学生のボランティア参加への奨励制度の充実に努めているようである。前回、消防関係の支援活動報告を受けたが、その後の成田市の支援策について伺う。

**答 >>>** 成田市ではこれまで被

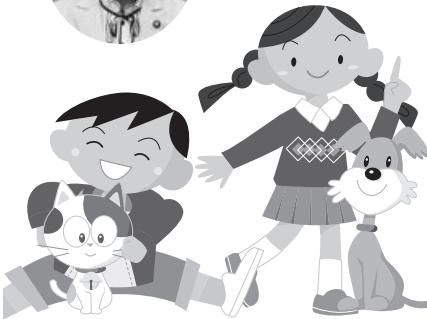
災者に対する支援として、中台体育館、旧中郷小学校を一次避難所として、避難者の受け入れを実施した。その後、災害救助法の適用に基づき二次避難所としてホテルなどの提供が実施されている。今後は、被災者世帯の応急仮設住宅として、成田市内の民間賃貸住宅を借り上げ提供する事業を10月に開始する予定である。また、被災した失業者の雇用の場を確保するため、成田市の非常勤職員として雇用することとしている。

### その他の質問

- ◆自転車事故の防止対策
- ◆防災トイレの設置状況

## 8. 犬猫殺処分問題に対する市の取り組みは

會津素子 議員



**問 >>>** 近年のペットブームの陰で無責任な人間が動物を捨てたり、動物愛護センターに持ち込んだりといった問題が顕著になり、犬や猫が殺処分機で窒息死させられている。このような犬・猫殺処分の問題に対する成田市の取り組みを伺う。千葉県内でも、不幸な命をふやさないために犬や猫に対する不妊・去勢手術の助成制度を10以上の自治体が設けており、成田市でもぜひ取り入れてほしいと考えるが見解は。

**答 >>>** 広報なりた及び区長回覧を通じて、動物愛護の精神の普及啓発を図るとともに、動物愛護セン

ターの実施している動物愛護教室、親子体験教室及び犬のしつけ方教室などの開催情報をお知らせしている。広報なりたに掲載している動物愛護に関する特集の中で、捨てられた犬や猫が最終的には殺処分されてしまう現状についてお知らせしていきたいと考えている。また、不妊・去勢手術は必要に応じ飼い主が行うべきものと認識している。

### その他の質問

- ◆成田市独自で、食品に含まれる放射性物質検査を
- ◆電力の競争入札を
- ◆命の大切さを学ぶ教育

## 9. 通学路の安全対策

一山貴志 議員



**問 >>>** 各学校の通学路の安全対策はなされているものと認識しているが、道路環境の面から最大限の努力で子どもたちを事故から守る安全対策を取るべきだと考える。成田市として通学路の安全対策への取り組みをどのように行っているか。また、各学校に簡易型測定器を配付し、通学路の放射線量も測定することはできないか。

**答 >>>** 各小中学校では、交通安全教室の開催や特別活動の時間を利用し、児童生徒の防犯・安全に対する意識を高めており、朝や帰りの会などで日々防犯・安全に対する注意

を促している。また、保護者、教職員、ボランティアによる学区のパトロールや通学路での防犯、交通安全指導を行うとともに、下校時間に青色パトロールカーによる巡回指導も行い、児童生徒の安全確保に取り組んでいる。また、今後の放射線量の測定については、学校により多くの測定地点を設けるとともに、通学途中地点の測定などより細かく測定を行っていく。

### その他の質問

- ◆業務継続計画の推進
- ◆CSR（企業の社会的責任）の推進



## 10. 農業の現状と将来像



福島浩一 議員



▲大栄地区でのサツマイモの収穫

**問** 成田市はもとより千葉県全体が放射性物質に汚染され、風評被害による売り上げの激減で、今農業は危機的状況にあると感じている。主要産業の一つである農業の現状をどのようにとらえ、成田市農業振興計画は農業の将来像をどう描いているのか。また、産地間競争に打ち勝つための産地化の方策をどのように考えているのか。

**答** 農業発展のためには成田市の特色を生かした取り組みが重要であり、優良な農業基盤を生かし、魅力ある産業としての農業の持続的発展を図るため、今後も農家の意向、

地域の要望などに基づいて施策事業を進めていきたい。また、米やサツマイモにおいて、成田市は全国でも有数の大産地であるが、産地間競争に打ち勝つためには、消費者に選ばれることが重要であると考えている。JAなどでは高品質で安全安心な農産物の安定生産の強化や農産物のブランド化、関連商品の開発による販売促進活動などに取り組み、産地生産力の強化を図っている。

### その他の質問

- ◆成田市地域医療のあり方と現状
- ◆大栄診療所の今後の運営
- ◆高齢者医療の今後の対策

## 11. 震災住宅に公的支援を



鵜澤 治 議員



**問** 大震災での破損住宅復旧は、全壊・半壊等に加え一部損壊にも公的支援を行うべきである。損壊住宅の復旧と耐震化は市民生活の安全確保であり、自治体財産の構築に寄与するものである。現行耐震助成制度の補助限度額や耐震基準などの見直しを行うとともに住宅リフォーム制度を新設し、震災住宅の復旧対策として活用されることを求める。

**答** 一部損壊の被災世帯に対しては、液状化などの敷地被害による地盤復旧の際には支援金を支給している。また、被災者が住宅の建て替えや補修のための融資を受けた

場合に、その融資に掛かる利子を助成する制度を、千葉県の制度に対し、対象となる融資の額や、利子補給率などを拡大し8月から実施している。現行の耐震助成制度については、基準日なども含めて見直しを検討し、防災による住宅リフォーム助成制度についても引き続き検討する。

### その他の質問

- ◆航空機夜間騒音の睡眠妨害、健康への影響調査を
- ◆放射性廃棄物の搬入規制強化と管理型最終処分場の建設整備を
- ◆給食食材の安全を確保するために放射線量検査実施を

## 12. 放射線から子どもたちを守る

馬込勝未 議員



▲除染が予定されている豊住小学校

**問** 放射線対策については、6月議会で年間1ミリシーベルトを超える校庭や園庭の表土の除去を求めたが、側溝や砂場、水たまりなど放射線量が高いと思われるところのきめ細かな測定を求める。併せて公園でも数値が高いところがあるので、除染作業を求める。内部被ばくを防ぐために学校給食の食材の放射線量の測定をすべきである。また、測定器の市民への貸し出しはできないか。

**答** 今後の放射線量測定は、比較的線量が高くなりやすい場所を特定するために測定地点を拡大していく。年間1ミリシーベルトを超え

と思われる豊住小学校の校庭は、土の入れ替えなどの対策を講じる。公園については継続的に放射線量の推移を注視し、今後の対策を検討していく。また、学校給食での食材に対する不安を解消するために測定器を導入する準備を進めている。現時点で放射線測定器の市民への貸し出しは難しいが、測定要望については可能な範囲で対応を図っていく。

### その他の質問

- ◆収賄事件の全容解明と処分
- ◆成田市公共施設の長寿命化計画
- ◆公共施設は市民福祉の増進のために



### 13. 地域包括支援センターの責任主体は成田市



大倉富重雄 議員



▲今後期待される地域包括支援センター

**問 >>>** 地域包括支援センター<sup>注4</sup>の責任主体は市町村であり、市町村が地域包括支援センターを活用しながら地域包括ケアを実現していくことになる。そのため市町村は、地域包括支援センター運営協議会を設置して、地域包括支援センターの運営を支援することになる。地域課題を把握し、必要なサービスの導入に結びつける調整能力を発揮してもらうことを考えると、基幹のセンターは直営にすることが望ましいが、成田市は全部委託する形になるため、今後、地域包括支援センターとの関わり方がどうなるのか、気にかかるところであるが、成田市の考えを伺う。

**答 >>>** 成田市は地域包括支援センターの委託に関して主体的な責任を負うため、各地域包括支援センターの業務実施は、職員間、また各地域包括支援センター間の活動の差異が生じないように、全体を取りまとめるような役割を担う必要があると考えている。また、高齢者虐待防止法及び老人福祉法に関する措置事務についても、主体的に関係機関と連携しながら引き続き行っていく。

#### その他の質問

- ◆地域支え合い体制づくり事業
- ◆介護保険料の減免
- ◆自治基本条例制定の現状と今後

<sup>注4</sup> 地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関。

### 14. 放射能汚染対策と地域防災体制の強化

油田 清 議員



**問 >>>** 政府の学校校庭などの放射線量の基準値見直し（年間1ミリシーベルト）に伴う、成田市内の基準値を超えた除染対象箇所への対応について伺う。放射線量の測定は通学路などでも必要ではないか。併せて、特に幼児が直接手に取り遊ぶ公園の砂場はより安全のために除染するべきではないか。また、学区単位での学校や自主防災組織、民生委員等との連携をどう考えているか。

り細かく測定を行っていく。公園の砂場は、基準値を超えと思われる場合には対策を講じる。また、今回の震災における活動状況のアンケート調査結果等も踏まえ、単独の自主防災組織のみならず、地域で活動している民生委員や防災士、避難場所に指定されている学校関係者等とも連携し、地域などを考慮した自主防災対策を考えていきたい。

**答 >>>** 豊住小学校の校庭は、土の入れ替えなどの放射線量を減少させる対策を講じる。今後、測定地点を拡大し、通学途中の地点も含めよ

#### その他の質問

- ◆買い物弱者応援マニュアル
- ◆必修化となる中学武道への対応
- ◆学力テストなど単年度契約の見直しが必要な事業

### 15. スポーツ健康都市宣言のまちづくり



飯島照明 議員



**問 >>>** 成田市は、平成16年度にスポーツ健康都市宣言をし、22年度には、第2次成田市生涯スポーツマスタープランを策定した。その中でジョギング・ウォーキング・散歩に対する市民の意識はかなり高いものであったが、ジョギングコースや、遊歩道の整備、拡充の計画はあるのか。また、現在ある体育施設の利用申し込み方法の簡素化や、利用日、利用時間の拡大等の要望もあるが対応を伺う。

緑道をトリムコースとして設定している。多くの利用があり、今後整備予定の（仮称）畑ヶ田多目的スポーツ広場にも計画している。また、中台運動公園などの主要な体育施設でインターネットによる予約システムを導入し、利用の申し込み方法の簡素化に努めてきた。併せて、中台運動公園の体育館などの施設は、元旦と保守点検日を除き、夜9時まで利用できるようにしている。

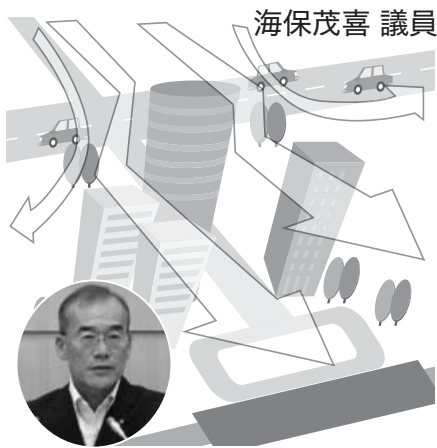
**答 >>>** ジョギング・ウォーキングコースは、中台運動公園をスタート・ゴールとする3.2キロメートルの

#### その他の質問

- ◆国際人としてふさわしい資質を身につけるための教育の拡充
- ◆身につけた英語を実践する機会



## 16. 入札改革をめぐる諸問題



海保茂喜 議員

**問 >>>** 公共工事の品質を確保する重要な条件の一つは、適切な価格での契約である。発注機関が作成する設計図書を明確にすることにより、不透明な部分がなくなり、業者は正確な積算を行い、適正な実行予算を組むことができるようになる。そして、そこから初めて積算技術を競う本当の価格競争が始まる。積算情報を明示し、価格競争を促進する必要があると考えるが見解を伺う。

**答 >>>** 正当な積算価格による競争を行うためには、発注者側の条件を明示しなければならない。千葉県積算基準及び単価は一般に公開

されており、発注者側はこの基準で設計書を作成し、金額を抜いたものを参考資料として公開している。これに対し疑義ある場合は質疑・回答できるようにしているが、積算の条件明示は、発注者側の責務として正当な価格競争のため、また品質確保のためにも遺漏のないように努める。

### その他の質問

- ◆同時離着陸方式の導入で生まれ変わる成田空港
- ◆J R 成田駅再開発ビルの上にマンションはなぜ必要なのか
- ◆日照や景観に比べ、忘れられがちな風の問題は

## 17. さくらの山整備



神崎 勝 議員

▲さくらの山の農産物直売所

**問 >>>** さくらの山は、千葉県眺望百景に選ばれるなど、今や成田市の名所の一つになっており、駐車場にある産地直売所にも多くの方が訪れている。このさくらの山を、観光拠点として整備することにより、地域の活性化や農業の振興、観光立市の推進などに貢献できるのではないかと。成田市の観光紹介や地域グッズを販売したり、フードコーナーを用意した成田物産センターを設置してはどうか。また物産センターに、休憩所の整備はできないか。

**答 >>>** 成田市としても、さくらの山は重要な観光拠点に位置付けて

おり、観光施設の設置について検討している。しかし、さくらの山周辺は航空法による制限を受けていること、また市街化調整区域であることから、どのような施設が建築可能であるか、近隣市町の状況などを調査しながら、成田国際空港株式会社との協議を進め、観光施設としての設置に向けて努力していきたい。

### その他の質問

- ◆西三里塚大清水線の進捗状況
- ◆遠山小、中学校の通学路歩道の整備（県道成田松尾線）
- ◆（仮称）畑ヶ田多目的スポーツ広場

## 議会を傍聴してみませんか

本会議はもちろん、常任委員会・特別委員会の様子を傍聴することができます。

皆さんが選んだ議員の活動や、市政について知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

日程や一般質問の質問項目は、市議会ホームページで確認するか、議会事務局までお問い合わせください。

## 傍聴受付

※会議の始まる30分前から受付

- 本会議（64席・車椅子用2席）  
→ 議会棟4階 傍聴席入口  
1階福祉部右側エレベーターをご利用ください。
- 委員会（10席）  
→ 議会棟2階 議会事務局

市議会ホームページで本会議・委員会のライブ中継、閉会後は録画中継（本会議）もご覧いただけます。

また、成田ケーブルテレビでも生中継しています。

## 請願・陳情について

市民の皆さんが、市政についての意見や要望を議会に提案できる制度として請願と陳情があります。法律によって定められた権利として、どなたでも提出することができます。

### 請願

請願の提出には、市議会議員の紹介が必要です。受理した請願は、委員会で審査し、本会議で採択・不採択の決定をします。

### 陳情

請願と違い紹介議員は必要ありません。市民の方から直接提出された陳情は請願と同様に委員会で審査されます。

### 提出方法

請願(陳情)者の住所・氏名・押印と、趣旨及び理由を記載して、議会事務局へ提出してください。請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。

請願・陳情はいつでも提出することができますが、各定例会(3・6・9・12月)の開会日1週間前までに提出されたものは、その定例会で審査されます。

### 【書式例】

平成 年 月 日

成田市議会議長 様

住所  
氏名 印  
紹介議員

○○○に関する請願(陳情)書

1 趣旨  
○○○○○○○○○○○○○○○○

2 理由  
○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○。

以上のとおり請願いたします。

## 中学生議会開催

8月24日に中学生議会が開催されました。中学生に市議会について体験的に学んでもらい、市政への関心を深めてもらうため開かれるものです。市内中学校10校から代表22名が出席し、市政について中学生の視点で夢や意見・質問が出されました。



## 議員研修会を開催

成田市議会議員団では、議員の資質向上、議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

8月31日には、「想定外」の環境変化にも耐えられる戦略的思考～伸びるリーダーのモノの見方・考え方はここが違う～をテーマに、広島大学大学院教授の井上善海氏を迎えて開催しました。



## 12月定例会は、 12月2日(金)開会予定です

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760  
TEL 0476(20)1570(直通)  
FAX 0476(24)0336

成田市議会

検索



## コーヒータイム



今年の防災の日は、東日本大震災による被害の大きさを目の当たりにして、災害に対する準備の大切さを多くの方が実感した事と思います。

そこで静岡県で取組まれている『HUG』というゲームを全国に広めたいとの記事を紹介しします。「このゲームは6人程度でグループを作り、避難所の平面図に250枚の避難者カードを状況に応じて配置を考えるもので、例えば高齢者はどこに誘導すればいいか？仮設トイレはどこに配置するのが適切か？などについて、参加者が意見を出し合って避難所の運営を学ぶためのツールとなっている。ゲームを通して自主防災の活性化にもつながると、ハグの効果に期待を寄せる。」とあります。

成田市は幸いにもあまり大きな災害になりませんが、備えあれば憂い無しとの諺のごとく、市民ひとりひとりが防災意識を共有し安全・安心のための準備を怠りなく進める事が今重要ではないでしょうか。

市議会だより編集副委員長 水上 幸彦

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす紙を使用しています。

